

北本市立西中学校仮設校舎賃貸借 事業概要

1 設置目的

西中学校校舎A棟（南棟）耐震補強及び大規模改修工事に伴い仮設校舎を5ヵ月間賃貸借するもの

2 設置場所

西中学校校庭

3 契約期間

平成22年3月11日から平成23年1月25日まで

4 賃貸借期間

平成22年7月16日から平成22年12月25日まで（約5ヵ月間）

設置期限 平成22年7月10日

5 契約額

48,184,500円

6 賃貸借建物の大要

設置及び解体一式

鉄骨造（プレハブ工法）2階建て 1棟 1,630㎡

上記建物と既存建物との上屋付渡り廊下設置一式

上記に伴う電気設備、機械設備工事一式、備品リース、引越し一式

7 仮設校舎計画図

別添のとおり

変更

日付 相違

訂正事項

縮尺 S=1:500

工事名称

北本市立西中学校の仮設校舎賃借

相違

数量

御校印

数量

日付

10.04.22

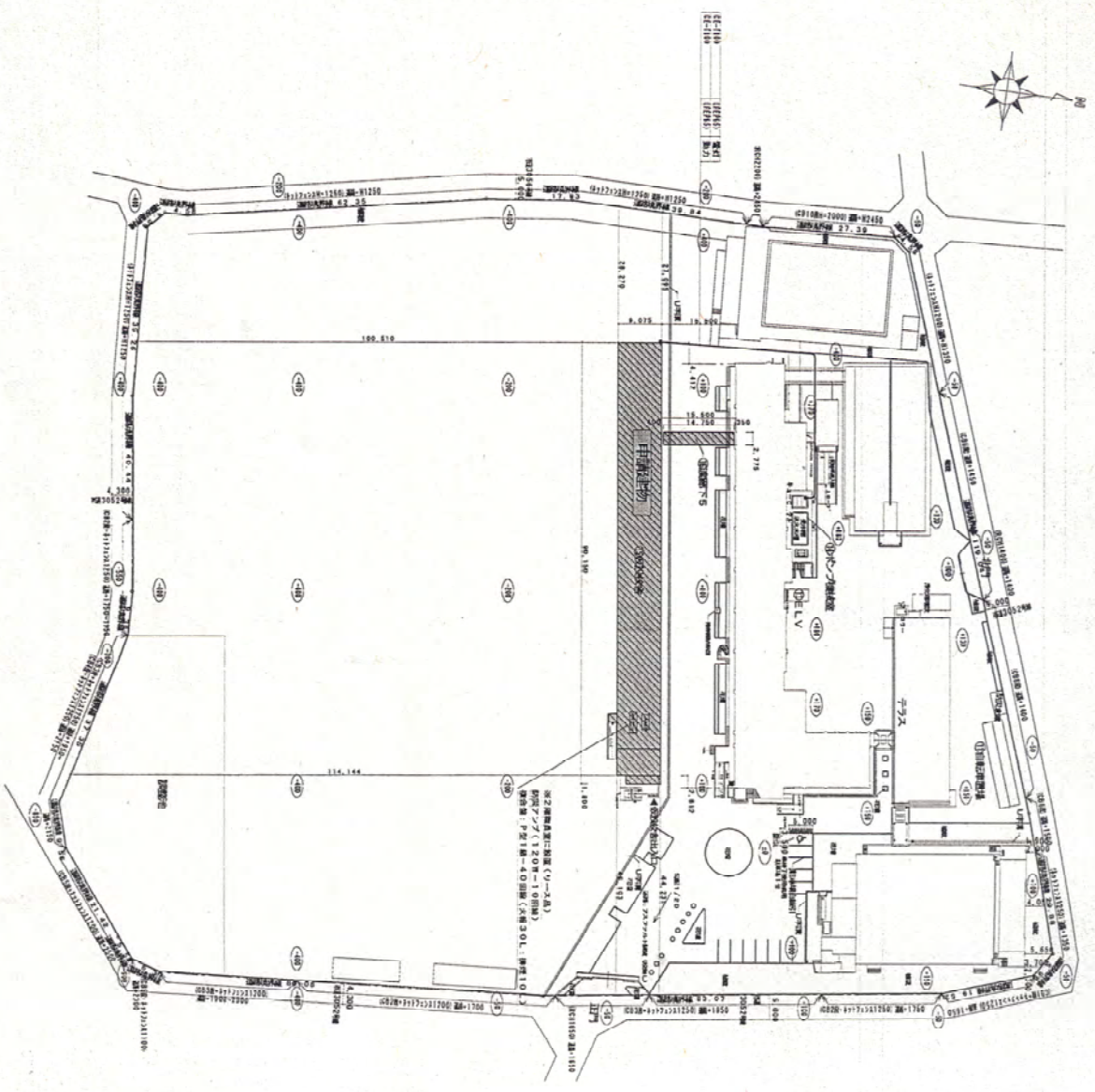
縮尺

1/500

棟名 仮設校舎

図番

E-01



北本市立西中学校校舎A棟耐震補強及び大規模改修工事予定表

種 別	年 月	平成21年				平成22年												平成23年			
		9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
建築工事	準備・手続き	委託業務		◎	◎					◎	●	→									
	工事										●	→	◎	→	→	→	→	→	→	◎	
	利用教室等										●	→	●	→	●						
電気設備 機械設備	準備・手続き	委託業務		◎	◎					◎											
	工事										●	→	◎	→	→	→	→	→	→	◎	
仮設校舎	準備・手続き	委託業務		◎	◎	◎	◎	→	◎												
	工事								●	→	●	→	◎	→	→	→	→	→	→	◎	
	引っ越し										●	→	◎	◎						◎	
仮 設 計 画 図									●	→	●	→	●	→					●	→	
主な学校行事	体育祭				冬休み			卒業式	春休み	入学式			夏休み	体育祭		産業まつり			冬休み	卒業式	春休み

西中学校校舎 A 棟耐震補強及び大規模改修事業

1 施設規模等について

- ・校舎 A 棟 昭和 5 2 年度建築（建築後 3 3 年経過）
- ・鉄筋コンクリート造 4 階建て
- ・延べ面積 5, 0 5 7 m²
- ・I s 値 0. 2 8（補強前）→0. 7 7（補強後）

2 工事内容について

- ・耐震補強・・・耐震補強工事（鉄骨ブレース補強 8 箇所、RC 壁増設 5 箇所、開口閉塞 1 箇所、PH 立上壁撤去、北側鉄骨庇補強）
その他補強関連工事
- ・大規模改修・・・外部改修（屋上防水、外壁改修、鉄部塗装等）
内部改修（床、壁、天井、便所、建具等）
電気設備改修（受変電設備、幹線、弱電、照明等）
機械設備改修（受水槽更新、給排水、消火栓、衛生設備等）
バリアフリー改修（エレベーター、スロープ新設等）

3 事業費について

・平成 2 1 年度	耐震補強及び大規模改修設計業務委託	1 9, 1 1 0, 0 0 0 円
	仮設校舎賃貸借	4 8, 1 8 4, 5 0 0 円
・平成 2 2 年度	耐震補強及び大規模改修工事「建築」	5 1 9, 7 5 0, 0 0 0 円
	「電気」	9 1, 0 5 6, 0 0 0 円
	「機械」	1 1 7, 2 8 5, 0 0 0 円
	全事業費	<u>7 9 5, 3 8 5, 5 0 0 円</u>

4 予算措置について

・当該事業は、平成 2 2 年度当初予算において計上予定であったが、今年度の国の経済危機対策により平成 2 1 年度第 1 次補正予算にて対応することが可能となったため、予算を 2 2 年度当初予算から 2 1 年度 3 月補正予算により 1 年前倒し実施。

このことにより、国庫補助金（交付金）を本来の安全・安心な学校づくり交付金（率 2 / 3）のほか、経済危機対策・公共投資臨時交付金も充当可能となり、国庫不足分については、地方債も 1 0 0 % 充てられ、一部交付税措置もあるなど財政面において、非常に有利に実施することができる。

併せて歳入歳出予算を平成 2 2 年度へ繰越すため、繰越明許費を計上。

工事で苦労した点

○仮設校舎の対応

本事業は、学校校舎全体に関わる耐震補強と内部及び外部を全面的に改修するものであり、工事期間も5～6箇月程度を要するため、校舎内全てを明け渡す必要が生じた。このため、生徒の学習環境確保には、どうしても仮設校舎の設置が必要となった。

仮設校舎も国庫補助対象とするためリースでの対応とした。

工事完了後は解体となることから、必要最小限の教室、引越しの対応を検討。

○2学期の引渡し

仮設校舎は、本工事完了後に解体撤去することから、金額面も考慮し必要最小限の規模として計画した。特別教室（理科室、家庭科室等）については、設備機器や実験台、調理台の類に多額の費用を要するため、仮設校舎内の対応はしないこととした。

しかしながら、2学期からの授業再開の際には、特別教室の使用を始めなければならないため、本校舎内の特別教室等について、耐震補強を含め大規模改修工事の部分引渡しが必要となる。

このため、夏季休業期間中に特別教室（理科室、家庭科室等）及び廊下や階段等の共用部分の一部竣工と検査引渡しが必要なことから短期間で非常にタイトな工事スケジュールとなる。

○居ながら工事

2学期以降は、特別教室、普通教室の一部、廊下等の共用部分を引き渡し、児童・生徒等が居ながらの工事となるため、安全対策や騒音・振動への対応をしながら工事を進める必要があること。

○学校敷地の制約

校舎の耐震補強と全面改修に加え、仮設校舎の建設もあり、工事エリア、駐車場の確保等で学校敷地の大部分に制約が加わる。このため、授業のほか運動会等の学校行事へも影響があり学校関係者との綿密な調整が必要となる。

北本市における今後の長寿命化改修対策

耐震工事終了後の今後の長寿命化改修について、補助率が3分の1の場合の計画、補助率が上がった場合の計画を別々に行う。

国（文部科学省）は、学校耐震化100%（平成27年度完了）を最優先事項としているため、財源確保も含め、平成27年度以前に長寿命化改修事業の補助率が嵩上げされる可能性は低いと考えられる。

また、25年経過の未改修建物は全国的に相当数が残っていると推測され、28年度以降についても財源的な措置、現在の制度よりも有利な制度となるかは不明。

このようなことから、今後いろいろな場合を想定して計画を作成する必要がある。

耐震補強事業終了後の長寿命化改修対象棟(H26以降実施)

2013.4.1現在

【対象棟:25年以上建物】

(単位:千円)

優先順位	学校名	棟	建設年	経過年	面積	階数	設計費	事業費	国費	地方債	一般財源
1	北小	校舎A棟	S47	41	3,332	4	13,328	333,200	77,747	191,590	63,863
2	東小	校舎A棟	S50	38	3,934	4	15,736	393,400	91,793	226,205	75,402
3	中丸小	校舎B棟	S60	28	3,309	4	13,236	330,900	77,210	190,268	63,423
4	石戸小	校舎A棟	S45	43	1,885	3	7,540	188,500	43,983	108,388	36,129
5	東中	校舎A棟	S47	41	3,372	4	13,488	337,200	78,680	193,890	64,630
6	石戸小	校舎B棟	S57	31	1,384	2	5,536	138,400	32,293	79,580	26,527
7	南小	校舎B棟	S44	44	770	3	3,080	77,000	17,967	44,275	14,758
8	東中	校舎C棟	S59	29	1,048	3	4,192	104,800	24,453	60,260	20,087
9	宮内中	屋体	S57	31	990	1	5,940	148,500	23,100	94,050	31,350
計					20,024		82,076	2,051,900	467,227	1,188,505	396,168

①事業費は過去実績を元に試算。

②財源内訳は、定額により参考程度(国費70,000円/m²、算定割合1/3 地方債75%)